

目 次

I	令和4年度事業概要	
1	運営基本方針	1
2	組織・事務分掌・職員構成	4
3	当初予算	5
II	令和3年度事業概要	
1	主な取組	6
2	刊行物	7
3	運営費状況（決算）	7
III	行事実施状況	
1	展示事業	9
2	教育普及事業	10
3	他館との連携	13
IV	統計	
1	貴重資料等の整備概況	15
	(1) 貴重資料収集状況 (2) 受入資料内訳 (3) 主な新収蔵資料	
	(4) 映像資料等の整備状況	
2	利用状況	16
	(1) 企画展観覧者数 (2) 利用者数	
	(3) 職場体験・研修・見学の受入	
V	資料編	
1	文学館概要	17
2	沿革	18
3	風花随筆文学賞	19
	(1) 事業内容 (2) 実行委員会 (3) 令和2年度理事	

I 令和4年度事業概要

1 令和4年度運営基本方針

ふるさと文学館は、令和元年度に新たに策定された福井県教育振興基本計画等を踏まえ、文学を中心とした幅広い活動が可能な施設として、県立図書館、県文書館をはじめとした県内外の関係機関と連携しながら、多くの人たちがふるさと文学に親しみ、文学を楽しむことができるよう、以下の取組を進めます。

(1) 資料の収集・整理、調査・研究

福井県ゆかりの作家や福井県が舞台となった作品に関わる資料を積極的に収集・整理し、調査研究を進めます。

① 資料の調査・収集と整理

- ・福井ゆかりの作家や作家の家族、全国文学館、古書店等と連携し、資料の情報提供や総合的な資料収集に努めます。

② 情報提供と活用

- ・自館所蔵資料の分類、整理、デジタル化を進め、資料情報を図書館、文書館と統合したシステムで検索できるように整備します。
- ・これまで未展示の資料をプロローグゾーンなどで紹介し、自館所蔵資料の活用機会を増やします。

(2) 文学の魅力の発信

福井ゆかりの作家の自筆原稿や愛用品など貴重な資料を展示し、多くの人たちが広く文学者や文学作品に親しむ機会を提供します。

① 全国文学館等と連携した展示

- ・おしどり文学館協定を結んでいる吉村昭記念文学館や、全国文学館協議会との連携を図り、福井にいながらにして県外の様々な文学・作家に触れる機会を提供します。
- ・他の文学館で開催された巡回企画等を調査・誘致し、多彩な展示を行う準備を進めます。
- ・県内文芸創作グループ等との連携企画を行い、創作活動や利用者同士の交流促進の場を提供します。

② 多彩な資料を用いた展示

- ・絵本や原画、写真など子どもから大人まで家族で楽しめる展示をきっかけとして、多くの人々の来館を促進します。
- ・映像、音声資料を効果的に使い、展示室だけでなく、ホームページを活用して来館しなくても福井ゆかりの作家や福井を舞台とする作品を身近に感じられ

る展示を行います。

- ・小中学生向けの展示や資料作成、高校と連携したイベント、大学生イベント企画の参画などを通し、文学館への新たな関心を喚起します。

(3) 文学活動や交流の支援

多くの人たちが福井ゆかりの作家や文学などについて、広く深く知り、携わることができるよう、講演会や文芸創作講座などの活動を進めます。

① 図書館、文書館との三館連携

- ・三館が持つ特徴を生かした統一テーマでの展示を行い、相互に利用者の循環を図ります。
- ・文学関係団体と連携し、三館の機能・設備を活用したイベントを実施します。

② 講演会、文学ゼミ

- ・著名作家や福井ゆかりの作家による講演会や文芸創作講座、映画上映会など文学に関する多様なイベントを開催します。
- ・文芸誌の現役編集者による小説家養成講座を行い、作家を志す若者の執筆活動を支援します。

③ 情報発信

- ・HP、メルマガ、SNSなどのネットワークツールを活用し、幅広い利用者への情報発信に努めます。
- ・子ども向けパンフレットやワークシートなどを製作し、児童生徒が利用しやすい環境を整備します。

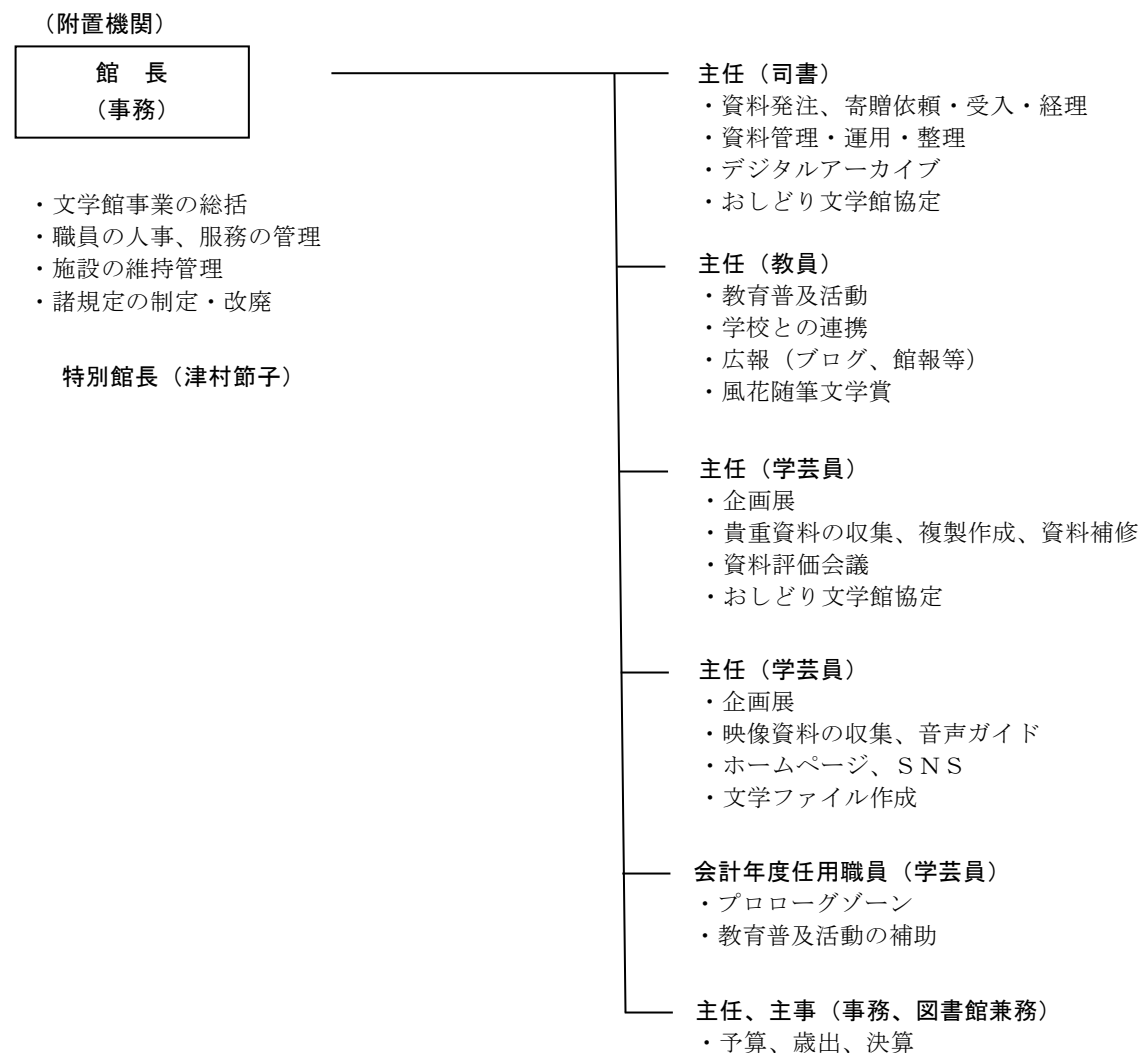
取組と達成目標 -ふるさと文学館-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応 ○デジタルアーカイブ画像公開準備	○映像・音声資料の公開準備 ○ デジタルデータを用いた収蔵資料の周知 ○ ふくいゆかりの作家の調査・情報収集	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ○ SNSを活用した情報収集	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握
	●資料購入・受入 (R3:541点) ●資料デジタル化 (R3:114点) ●レファレンス対応 (R3:15回) ●デジタルアーカイブ画像公開件数 100件	●著作権調査資料 5点 ● ホームページ、SNSでの収蔵資料紹介 ● ふくいゆかりの作家データベースの作成・更新	●資料調査 2回	●プロローグゾーンで未展示資料を展示 10点 ●映像・音声資料のピックアップ紹介 5点 ● アンケート機能を利用した調査	●映像資料リストの作成 ●YouTubeリンク促進 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回
② 文学の魅力の発信	○常設展・企画展の実施(プロローグ、タイムリー、代表作家、企画展)	○絵本原画や写真などを取入れた展示 ○県外の著名な作家や作品等の紹介 ○ 中高生向け教育・普及活動の強化	○吉村昭記念文学館との連携 ○全国文学館協議会との連携 ○図書館内カフェとの連携 ○県内文芸団体等との連携	○新しい手法を取り入れた展示 ○来館者の利用促進 ○ 観覧者が参加できる双方向型展示	○他館展示パネルなどの活用 ○展示パネル等の有効活用
	●展覧会 14回 (企画展2回、新収蔵展1回、特集展示9回、常設展示2回)	●福井ゆかりの作家の企画展の開催 ●大型企画展の実施 ●県外の作家作品展示 2回 ●子ども向けツール作成 2件 ● 中高生向けワークショップ等イベントの開催	●おしどり文学館協定展示 1回 ●図書館内カフェとのコラボ企画 2回 ●文学の小路での文芸作品展 6回	●他館巡回展調査 2回 ●ホームページ上でのデジタル展示、QRコードを用いた展示ガイド、メディアミックスなどの利用 ●音声ガイド(わかりやすい案内表示)の作成 8本 ● 企画展のテーマに関するイベントの開催	●他館保有パネルの展示 2回 ●再利用を見越した展示パネル等の制作
③ 文学活動や交流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント情報発信 ○風花随筆文学賞の円滑な運営	○PR先の開拓(若年向け)	○学校との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用	○来館者志向、ニーズの把握 ○効率的な広報の実施
	●講演会等 17回 ●文学ゼミ参加人数 のべ 142人 ●SNS投稿回数 130回 ● Instagramによる情報発信 100回	●新たなPR先の検討	●学校との連携展示 1回 ●三館の統一テーマによる展示 2回 ●若狭図書学習センターでの出張展示	●文学ファイル(子ども編)作成 ●サイネージ映像の更新 4回	●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成

※上段は取組項目、下段は目標 ゴシック体は令和4年度の新規項目

2 組織・事務分掌・職員構成

(令和4年4月1日現在)



	人数	うち 学芸員	うち 司書	うち 教員
館長	1			
主任	4	2	1	1
主査	0			
会計年度 任用職員	1	1		
計	6	3	1	1

兼務（図書館企画調整グループ）

主任	1
主事	1

3 令和4年度当初予算

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
資 料 整 備 費	6,075	原稿等資料購入 映像使用料 委託（複製作成、補修、デジタル化等）
展 示 事 業 費	12,133	通信運搬（美専車） 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
調 査 研 究 費	169	研修旅費 資料調査謝礼
教 育 普 及 費	4,355	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	341	音声ガイド収録・配信 おしどり文学館事業
管 理 運 営 費	10,933	報償費（特別館長、資料評価会議等） 受付業務委託 展示設備等メンテナンス
計	34,006	

令和3年度 取組と達成目標・実績 -ふるさと文学館-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応 ○アーカイブ目録画像公開準備	○映像・音声資料の公開準備 ○収蔵資料の取扱区分検討	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握
	●資料購入・受入 R2:3,347点(495点) ●資料デジタル化 R2:345点(114点) ●レファレンス対応 R2:10回(15回) ●アーカイブ目録画像公開件数 100件(67件)	●著作権調査資料 5点(5点) ●資料取扱区分の設定	●資料調査 2回(10回)	●プロローグゾーンで未展示資料を展示 10点(38点) ●映像・音声資料のピックアップ紹介 5点(5点)	●映像資料リストの作成 ●YouTubeリンク促進 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回(1回)
② 文学の魅力の発信	○常設展・企画展の実施(プロローグ、タイムリー、代表作家、企画展)	○絵本原画や写真などを入れた展示 ○県外の著名な作家や作品等の紹介 ○子ども向け教育・普及活動の強化	○吉村昭記念文学館との連携 ○全国文学館協議会との連携 ○図書館内カフェとの連携 ○県内文芸団体等との連携	○新しい手法を取り入れた展示 ○来館者の利用促進	○他館展示パネルなどの活用 ○展示パネル等の有効活用
	●展覧会 14回(15回) (企画展2回(2回)、新収蔵展1回(1回)、特集展示9回(10回)、常設展示2回(2回))	●福井ゆかりの作家の企画展の開催 ●大型巡回展の実施 ●県外の作家作品展示 2回(2回) ●子ども向けツール作成 2件(2件)	●おしどり文学館協定展示 1回(1回) ●全国文学館協議会連携展示 1回(1回) ●図書館内カフェとのコラボ企画 2回(2回) ●文学の小路での文芸作品展 6回(7回) ●山岳関係団体との連携企画 1回(開催せず 広報にて連携)	●他館巡回展調査 2回(2回) ●ホームページ上でのデジタル展示、QRコードを用いた展示ガイド、サブカルチャーなどの利用(2,43アニメ原画展) ●音声ガイド(わかりやすい案内表示)の作成 8本(8本)	●他館保有展示パネルの調査 2回(2回) ●再利用を見越した展示パネル等の制作
③ 文学活動や交流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント情報発信 ○風花随筆文学賞の円滑な運営	○PR先の開拓(若年向け) ○ポスター等デザイナーへの制作委託	○学校との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用	○来館者志向、ニーズの把握 ○効率的な広報の実施
	●講演会等 18回(17回) ●文学ゼミ参加人数 のべ142人 ●SNS投稿回数 130回(224回) ●Twitterによる情報発信 100回(121回)	●新たなPR先の検討 ●ポスター等のデザインの見直し	●学校との連携展示 1回(開催なし) ●三館の統一テーマによる展示 2回(2回) ●若狭図書学習センターでの出張展示 山本和夫展	●文学ファイル(子ども編)作成 ●サイネージ映像の更新 4回(6回)	●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成 ●押印廃止に伴う規則等改正

※上段は取組項目、下段は目標 (実績) ゴシック体は令和3年度の新規項目

Ⅲ 行事实施状況

1 展示事業

(1) 企画展

会期	企画展名	観覧者数
4/24(土)～6/13(日)	新収蔵品展	6,380人
7/16(金)～9/20(月・祝)	夏季企画展「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！」	15,758人
10/30(土)～R4.1/23(日)	秋季企画展 深田久弥没後50年記念展「山があるから」	17,273人

◆デジタル展示

開始日	企画展名
8/17(火)～	デジタル文学館収蔵資料展「直筆資料で読む高見順の作品」

(2) プロローグゾーン展示

①特集展示

会期	展示名
2/26(金)～4/11(日)	福井県民衛星打ち上げ記念加古里子特集展示「宇宙とどうぐ」
3/26(金)～7/14(水)	ふるさとの花と文学
4/17(土)～7/14(水)	伊藤柏翠生誕110年記念展示
9/22(水)～11/23(火・祝)	「2.43 清陰高校男子バレー部」アニメ原画展(ブランド課と共催)
11/26(金)～R4.3/23(水)	ふくい雨もよう雪もよう
11/26(金)～R4.2/16(水)	宮城谷昌光 古代中国小説の軌跡
R4.2/18(金)～4/10(日)	全国文学協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」

②タイムリースポット

会期	展示名
1/26(火)～4/11(日)	ようこそふるさと文学館へ
4/17(土)～7/14(水)	加古里子没後3年「加古里子とこどもたち」
5/28(金)～7/14(水)	祝 俵万智氏遡空賞受賞
10/1(金)～12/22(水)	おしどり文学館協定特集展示「吉村昭と天狗党」
12/24(金)～R4.4/10(日)	ようこそふるさと文学館へ

(3) ギャラリー文学の小路展示

会期	展示名	備考
3/16(火)～5/30(日)	アール・ブリュット展ふくい	協力:福井県知的障害児者生活サポート協会
4/24(土)～7/14(水)	伊藤柏翠俳句記念館所蔵写真展	協力:伊藤柏翠俳句記念館
7/16(金)～7/21(水)	福井県小中学生写生画コンクール入賞作品展	協力:中日新聞社・日刊県民福井
10/1(金)～10/27(水)	県高等学校書道展「特選」作品展	協力:福井県高等学校文化連盟書道部会
10/29(金)～12/22(水)	「太宰治生誕100年特別展」パネル展	協力:青森県近代文学館
12/3(金)～12/12(日)	「家族ふれあい」絵手紙コンクール入賞作品展	協力:福井市教育委員会
R4.1/6(木)～1/26(水)	比那ヶ岳俳句会作品展	協力:比那ヶ岳俳句会
R4.1/28(金)～3/23(水)	「青函を旅した文人たち」パネル展	協力:青森県近代文学館

(4) その他

①音声ガイド

福井ゆかりの作家について著名人が語る音声ガイドを制作し、館内利用（無料）

対象作家	収録作家	備考
高見順	荒川洋治氏	H30 年度
三好達治	池澤夏樹氏	H30 年度
山川登美子	津村節子氏	R1 年度
橘曙覧	俵万智氏	R1 年度

展示資料解説の特別コンテンツを制作し音声ガイドで利用

企画展	解説資料数	期間
夏季企画展「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！」	5 点	7/16～9/20
秋季企画展 深田久弥没後 50 年記念展「山があるから」	5 点	10/3～R4. 1/23

②動画配信

タイトル	内容
おしどり文学館協定記念朗読会 「津田寛治『天狗争乱』を読む」	11/7 開催当日のみ YouTube ライブ配信 荒川区吉村昭記念文学館でも上映開催
鈴木まもる氏講演会「『みずとはなんじゃ』と鳥の巣の不思議」	R4. 2/26 リモート講演会を Zoom にて会場と自宅から視聴

③文学館購入雑誌等の閲覧

プロローグゾーン内くつろぎコーナーにおいて閲覧可能

「季刊文科」「近世文藝」「日本近代文学」「日本文学」「三田文学」「早稲田文学」「公募ガイド」ほか
全国の文学館発行の出版物等

2 教育普及事業

(1) 一般向けイベント

①作家講演会

日時	演題	講師	会場	参加者数
11/7(日) 13:30～15:00	おしどり文学館協定記念朗読会 「津田寛治『天狗争乱』を読む」	津田寛治氏	多目的ホール	76 人
12/11(土) 14:00～15:30	「地球を旅する」	石川直樹氏	多目的ホール	70 人
R4. 2/26(土) 14:00～16:00	「みずとはなんじゃ?」と鳥の巣の不思議→【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	鈴木まもる氏	多目的ホール	54 人
R4. 3/6(日) 14:00～15:30	第 25 回風花随筆文学賞授賞式記念講演「書物の身の上」→【新型コロナウイルス感染防止のため、授賞式 4/24 に延期、講演会中止】	出久根達郎氏	多目的ホール	—

②文学講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
6/13(日) 14:00～15:30	「天性の俳人伊藤柏翠と、愛子の生涯」	山岸世詩明氏	多目的ホール	63人
7/17(土) 14:45～15:45	「子どもも大人も集まれ！かみしばい口演会」	らくひょうしぎの会	多目的ホール	40人
9/5(日) 14:00～15:30	鈴木万里氏リモート講演会	鈴木万里氏	多目的ホール	38人
10/30(土) 14:00～15:30	「文学に選ばれた山一ふるさとの山を含めて」	増永迪男氏	多目的ホール	76人
12/4(土) 14:00～15:30	「『手紙』で読む太宰治」	木村小夜氏	多目的ホール	49人
12/16(木) 14:00～15:30	「山と文学」	増永迪男氏	多目的ホール	51人
R4. 1/9(日) 14:00～15:30 ←8/8を延期	「泰澄和尚と山の信仰」	堀大介氏	多目的ホール	51人
R4. 2/27(日) 14:00～15:30	「ムットーニ 創作の秘密」 → 【新型コロナウイルス感染防止のため 4/9に延期】	武藤政彦氏	多目的ホール	—

③文章講座（共催：風花随筆文学賞実行委員会）

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/18(日) 14:00～15:30	第1回文章講座 「佳作に学ぶエッセイという表現」	張籠二三枝氏	多目的ホール	42人
9/4(土) 14:00～15:30	第2回文章講座 「エッセイとはことばによる自己表現」	福田修氏	多目的ホール	44人
10/24(日) 14:00～15:30	第3回文章講座 「ひとに読まれる文章構成術」	森重良太氏	多目的ホール	44人

④創作講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
11/7(日) 10:30～12:00	小説創作講座	本宮ことは氏	研修室	34人
R4. 1/22(土) 14:00～15:30	脚本創作講座 → 【新型コロナウイルス 感染防止のためリモート講義】	鈴江俊郎氏	多目的ホール	51人

⑤映画上映会

日時	作品名	会場	参加者数
8/9(月・休) 14:00～14:40 ←4/29を延期	キッズ文学キネマ 「月とアザラシ」「殿さまの茶わん」	研修室	13人
9/20(月・祝) 14:00～14:40 ←5/5を延期	キッズ文学キネマ 「大造じいさんとガン」「美しいさいごの一葉」	研修室	10人
12/18(土) 13:30～15:10	太宰文学キネマ 「真白き富士の嶺」	多目的ホール	46人
R4. 1/8(土) 13:30～15:10	山の文学キネマ 「氷壁」	多目的ホール	55人
R4. 1/16(日) 13:30～15:00	山の文学キネマ 「滝を見に行く」	多目的ホール	51人

⑥クイズラリー

期間	名称	参加者数	グッズ
4/24(土)～6/13(日)	新収蔵品展クイズラリー	259人	缶バッジ
7/16(金)～9/20(日)	夏季企画展クイズラリー	4,560人	ポストカード
10/30(土)～R4.1/23(日)	秋季企画展クイズラリー	1,157人	缶バッジ

⑦その他

日時	行事名	会場	参加者数
8/9(月・休) 11:30～12:00	図書館探検隊	展示室 映像コーナー	6人
8/21(土),9/4(土) 14:00～14:30	<子ども室コラボ> 読み聞かせ会 工作ワークショップ	映像コーナー	9人 10人
10/2(土)13:30～ 10/3(日)11:30	「ライブラリーステイ—図書館に泊まって スポーツを知ろう—」(3館連携) 講義「スポーツを題材にした文学作品の魅力」	多目的ホール	18人

(2) 中高生向けイベント

① オーサートーク

日時	講師	会場	参加者数
12/10(金)13:35～14:45	赤神諒氏	武生東高校	289人
12/10(金)16:45～17:45	赤神諒氏	高志高校	40人

② ジュニア文学カフェ

日時	タイトル	講師	会場	参加者数
6/5(土) 10:30～12:00	現代俳句入門 (共催: 県高等学校文化連 盟文芸部会)	中内亮玄氏	多目的 ホール	36人

③ 出前文芸創作教室

〈詩〉

日時	講師	会場	参加者数
7/13(火)13:55～14:40	西村圭子氏	大安寺中学校	11人
7/15(木)13:50～14:40 14:50～15:40	詩人懇話会	成和中学校	150人

〈俳句〉

日時	講師	会場	参加者数
7/29(木)15:00～16:00	中内亮玄氏	高志中学校	50人

〈書〉

日時	講師	会場	参加者数
11/30(火)10:45～11:35 11:45～12:35	石川九楊氏	武生第三中学校	119人

(3) ふくい文学ゼミ

講師：上田恭弘氏（新潮社）

受講者数：14名

日時	カリキュラム	会場
7/3(土) 10:30～14:30	講座①…小説とは何か／上達の秘訣／とりあえずのヒント 講座②…作家という職業について	多目的ホール
8/29(日) 10:30～14:30	講座③…表記について／キャラクターの重要性 講座④…合評	多目的ホール
10/31(日) 10:30～14:30	講座⑤…ストーリーの要点／視点について 講座⑥…合評	研修室
R4. 1/23(日) 10:30～14:30	講座⑦…文章力を付ける／取材の重み 講座⑧…合評	大会議室
R4. 2/19(土) 10:30～14:30	講座⑨…長編執筆の作法／新人賞について／著作権を知る 講座⑩…合評	研修室

(4) 文学フェスタ

日時	イベント名	会場	参加者数
11/7(日) 10:00～16:00	文学同人誌ブース	エントランスホール	11 団体 31 人
11/7(日) 10:30～12:00	小説創作講座 本宮ことは氏	研修室	34 人
11/7(日) 13:30～15:00	おしどり文学館協定記念朗読会「津田寛治『天狗争乱』を読む」	多目的ホール	76 人 〈再掲〉
11/7(日) 9:00～18:00	ふるさと文学難問クイズ	文学館カウンター	22 人
11/7(日) 10:00～16:00	福井の文学出版物展示コーナー	エントランスホール	—
11/7(日) 10:00～16:00	秋季企画展深田久弥没後 50 年記念展 にちなんだ山の文学メニュー (協力：足羽福祉会)	カフェあすわの木	会期中 提供

3 他館との連携

(1) おしどり文学館

〈展示〉

会期	展示名	会場
10/1(金)～12/22(水)	おしどり文学館協定特集展示 「吉村昭と天狗党」	タイムリースポット 〈再掲〉

〈交流〉(リモート会議)

日時	参加者	備考
6/22(火) 14:00～14:40 R4. 3/10(木) 13:30～14:30	荒川区：村上ゆいの森担当課長、橋爪吉村昭記念文学館係長、北山学芸員 福井県：柴野館長、小林主任、野坂主任、岩田主任、尾崎主査	Teams にて、近況報告、次年度の連携について協議

〈その他〉記念グッズの製作・配布

吉村昭記念文学館	津村節子『花がたみ』にちなんだ和紙のマスケースとしおり	おしどり文学館協定記念朗読会にて参加者に配布
ふるさと文学館	吉村昭の『天狗争乱』原稿画像を表紙としたメモ帳	

(2) 連携展示

日時	展示名	連携先
10/29(金)～ 12/22(水)	「太宰治生誕 100 年特別展」パネル展	青森県近代文学館 〈再掲〉
1/28(金)～ 3/23(水)	「青函を旅した文人たち」パネル展	青森近代文学館 〈再掲〉

Ⅱ 令和3年度事業概要

1 令和3年度の主な取組

(1) 展示事業の充実

開館6周年を迎えた春の新収蔵品展では、三好達治の三国高校歌草稿、山本和夫の絵画、石川九楊の校正原稿など新たに受入れた資料169点を初公開した。夏季企画展は、大型巡回展「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！」を開催した。コロナ禍で他県では開催できなかった館もある中、貴重な絵本原画や下絵の展示のほか、撮影スポットやクイズラリーも実施し、家族連れで賑わい大盛況であった。『コウノトリのコウちゃん』の原画など福井独自の展示もあり、子どもとともに大人も楽しめる展示となった。秋季企画展は、深田久弥没後50年を記念してその実像に迫る「山があるから」を開催した。新田次郎などの山岳小説やそのモデルとなった登山家松濤明や、エッセイや写真で山を表現する増永迪男、石川直樹も紹介し、文学ファンに加えて山岳愛好者も多く訪れ山の文学を味わう展示となった。

プロローグゾーンにおいては、福井が舞台となった小説『2.43 清陰高校男子バレー部』のアニメ原画展、作家宮城谷昌光氏より図書館に寄贈された挿絵原画等の展示「古代中国小説の軌跡」など特集展示7回、「祝 俵万智 遥空賞受賞」などタイムリースポット5回を開催し、観覧者数は、62,608人となった。図書ゾーンのギャラリー文学の小路では、各種文化・文芸団体や学校等との連携により8回の展示を行い作品発表の場として活用された。

また、高見順の資料のうち原稿等67点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開するとともに、ホームページ上でデジタル文学館収蔵資料展「直筆資料で読む高見順の作品」を開始した。

(2) 教育普及事業の開催

作家講演会は、秋季企画展「山があるから」に関連して石川直樹氏による「地球を旅する」を開催した、鈴木まもる氏による『『みずとはなんじゃ?』と鳥の巣の不思議』は新型コロナウイルス感染防止のため延期し、Zoomによるリモート講演となった。文学フェスタでは、おしどり文学館協定記念朗読会「津田寛治『天狗争乱』を読む」を開催し、荒川区吉村昭記念文学館でもYouTubeライブ配信を行った。文学講座は、武藤政彦氏の「ムットーニ 創作の秘密」が延期となったほかは、堀大介氏の「泰澄和尚と山の信仰」など7回開催した。文章講座は3回、創作講座は、鈴江俊郎氏の初の脚本講座を含め2回開催した。その他、文学フェスタでも、感染対策を講じながらも、県内の同人誌グループの交流の場となるとともに、カフェと連携した文学メニュー等で文学に親しむ機会となった。

また、県内高校に講師を派遣するオーサートークでは、朝倉氏を描いた『酔象の流儀』の赤神諒氏が高校2校を訪れ講演を行った。

(3) 資料収集・保存・公開

師・萩原朔太郎に関する記述を含む随筆、三好達治「草上記」(原稿)、直筆資料が稀少な吉田正俊の「歌集天沼」(歌稿)、秋季企画展で展示の深田久弥発安川茂雄宛書簡、水上勉の「父と子」の挿画(司修画)、石川九楊「版書・DETAILS」(細密複製画)などを購入した。また、石川九楊氏から「近代書史」(校正原稿 全2,284枚)や装丁本、増永迪男氏から「一乗山」(原稿)など、作家のご家族から、多田裕計「幼年絵葉書」(原稿)や雑誌、広部英一の愛用品や図書の寄贈を受けた。

(4) おしどり文学館協定記念事業の開催

おしどり文学館協定記念朗読会「津田寛治「天狗争乱」を読む」を開催し、荒川区吉村昭記念文学館でもライブ映像を上映した。展示については、当館では、協定特集展示「吉村昭と天狗党」を開催する一方、荒川区では、トピック展示「津村節子「花がたみ」―越前和紙の魅力―」を開催した。コロナ感染拡大のため両館の訪問はできなかったが、リモート会議を実施し、活動状況など荒川区職員との情報交換を行って交流を深めた。

2 刊行物

(1) 文学ファイル

タイトル	発行日	部数	備考
吉田正俊	令和4年3月	5,000部	A5判
代表作家(子ども向け)	令和4年3月	5,000部	A5判

(2) 利用案内

タイトル	発行日	部数	備考
子ども向け利用案内	令和4年1月	2,000部	A4 観音折

(3) 広報誌

タイトル	発行日	部数	備考
福井県ふるさと文学館報 第8号	令和4年3月31日	1,500部	年刊、A5判
ふるさと文学館ふくい No. 46~50	令和3年4月~令和4年 3月	毎回 2,000部	ほぼ隔月刊 A4判

(4) 作品集

タイトル	発行日	部数	備考
ふくい文学ゼミ 六期生作品集 (令和2年度受講生)	令和3年10月15日	500部	A5判

3 運営費状況(令和3年度決算)

費目	金額(千円)	事業概要
資料整備費	6,301	原稿等資料購入 映像使用料 委託(複製作成、補修、デジタル化等)
展示事業費	11,563	通信運搬(美専車) 委託(展示造作、デザイン等) 使用、賃借料
教育普及費	4,012	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・ 文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	394	音声データ収録・配信 おしどり文学館事業
管理運営費	10,806	報償費(資料評価会議等)、展示保守点検 受付業務委託
計	33,076	

IV 統計

1 貴重資料等の整備概況

(1) 作家別貴重資料収集状況

(単位：点,冊)

	自筆資料、愛用品等			その他 (写真,本人蔵書等)			関係者の直筆資料 (挿絵,家族・師弟関係など)			総計		
	～R2	R3	累計	～R2	R3	累計	～R2	R3	累計	～R2	R3	累計
ふるさとゆかりの作家30人	4,363	71	4,434	11,768	259	12,027	361	183	544	16,492	513	17,005
その他	462	26	488	10	1	11	1	1	2	473	28	501
総計	4,825	97	4,922	11,778	260	12,038	362	184	546	16,965	541	17,506

※各複製含む

(2) 令和3年度受入資料内訳

(単位：点,冊)

	購 入	寄 贈		製作その他	計
		資 料	蔵 書		
ふるさとゆかりの作家30人	201	53	255	4	513
その他	9	17	0	2	28
計	210	70	255	6	541

(3) 主な新収蔵資料

①購入

(単位：点)

作家名	点 数	主な資料
中野重治	1	中野重治発除村吉太郎宛[書簡]
水上勉	178	『父と子』朝日新聞連載挿画(司修画)
水上勉	1	日の暮れは元気をくれる[書額]
山崎朋子	4	広部英一発山崎朋子宛[書簡]ほか
石川九楊	10	「版書・DETAILS」①～⑩[書]
三好達治	5	「草上記」五六八九ほか[原稿]
吉田正俊	1	歌集「天沼」[歌稿]
深田久弥	8	深田久弥発安川茂雄宛[書簡]
岡田耕三	1	小宮豊隆発岡田耕三宛[書簡]

②寄贈

(単位：点,冊)

作家名	点 数	主な資料
多田裕計	6	「幼年絵葉書」ほか[原稿]
石川九楊	7	「近代書史」[校正原稿]ほか
広部英一	16	万年筆 ほか「愛用品」
山本和夫	25	印章[愛用品]ほか
深田久弥	3	「百の頂に百の憩いあり」ほか[色紙]
増永迪男	5	「一乗山」[原稿]ほか

(4) 映像資料等の整備状況

(単位：点)

	点数	累計	主な作品名
外部作成	2	37	「絵本作家かこさとし 子どもたちがみんな教えてくれた」
自館作成	3	86	山岸世詩明氏講演「天性の俳人伊藤柏翠と愛子の生涯」
計	5	123	

2 利用状況

(1) 企画展観覧者数

会 期		企画展名	観覧者数
4/24(土)～6/13(日)	42日	新収蔵品展	6,380人
7/16(金)～9/20(月・祝)	62日	夏季企画展「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！」	15,758人
10/30(土)～R4.1/23(日)	65日	秋季企画展 深田久弥没後50年記念展「山があるから」	17,273人

(2) 利用者数

(単位：日、人)

年度	利用者数	累計	開館日数
H26	21,642	21,642	48
H27	81,779	103,421	299
H28	61,583	165,004	298
H29	69,379	234,383	299
H30	61,910	296,293	288
R1	70,304	366,597	301
R2	46,883	413,480	265
R3	62,608	476,088	293

(3) 職場体験・研修・見学の受入

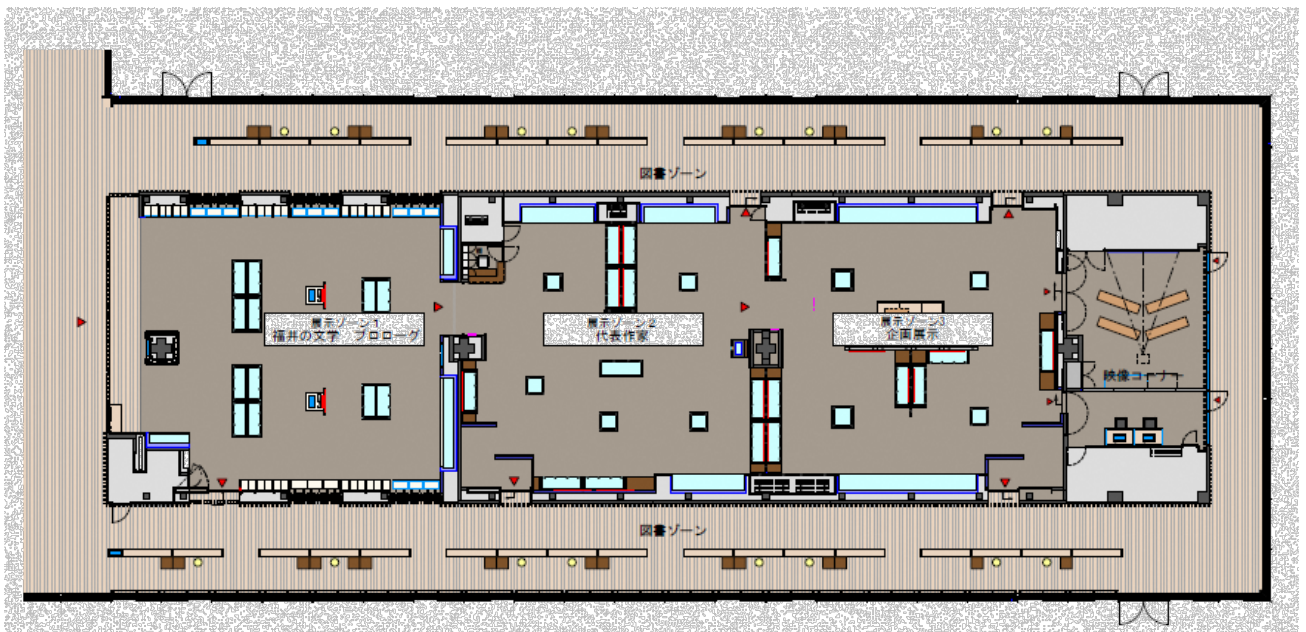
(単位：人)

団体数	人数
36	1,021

V 資料編

1 文学館概要

- (1) 延床面積 1,020㎡ (県立図書館の郷土・環日本海コーナーを再編、改修)
- (2) 建物の特長
- ・図書館空間と融合する開放的なエントランス
 - ・展示室周囲、プロローグゾーン棚突板、展示ケースに県産スギ材を使用
 - ・代表作家ゾーン、企画展ゾーンは防火区画とし、外光を遮断。可動間仕切りや、パネル交換が可能なシステム壁面を採用し、展示内容に合わせレイアウトの変更が可能
- (3) 基本理念
- ・ゆかりの作家や福井県を扱った作品に関する資料を収集、紹介し、福井の文学を後世へ伝えていく。
 - ・福井ゆかりの文学の魅力を発信し、福井県の魅力の再発見、理解を促進する。
 - ・県民が文学に親しみ、学び、交流できる機会を提供し、文学を通じた新たな文化活動を促進する。
- (4) 活動の特長
- ・図書館、文書館、文学館の3館併設のメリットを活かした機能、活動
 - ・文学に関する文字以外の映像・音声資料も合わせ、作家の実像や作品の背景等を紹介
 - ・文学を志す若い世代の創作活動支援
- (5) 各ゾーン
- ①プロローグゾーン (168㎡)
福井ゆかりの作家(約30人)、福井を描いた文学作品(約400作品)、福井県文学マップ(約120ヶ所)など、福井の文学の概略を紹介(展示資料約120点)
 - ②代表作家ゾーン (153㎡)
中野重治、高見順、水上勉、三好達治、津村節子を紹介(展示資料約70点)
 - ③企画展ゾーン (147㎡)
福井ゆかりの作家をはじめ様々なテーマの企画展
 - ④映像コーナー (47㎡)
「福井を愛した文人たち」(12分)の放映、個人ブースでの映像・音声試聴(47点)
 - ⑤図書ゾーン (430㎡)
展示ゾーン周囲に書架を配置、貸出用図書、県内文学同人誌など約7,000冊を排架



2 沿革

年 度	事 項
平成 14 年度	福井県立図書館が新築移転し、「郷土文学コーナー」を新設（2月1日）
18 年度	「ふるさと文学コーナー」として拡充
22 年度	福井県教育・文化創造会議において文学館の整備が提言 福井県民の将来ビジョンで整備の必要性が謳われる
23 年度	福井新々元気宣言に、ふるさと文学館の整備が明記
24 年度	「福井ふるさと文学館（仮称）基本計画」策定（3月）
25 年度	基本設計、実施設計、建築改修工事着手
26 年度	展示工事着手 福井県ふるさと文学館開館（2月1日） 津村節子氏特別館長就任 開館記念特別展「津村節子と吉村昭 はてなき旅～夫婦作家の軌跡～」開催（2月1日～4月5日） 開館記念対談（津村節子氏、藤田宣永）開催
27 年度	日本文藝家協会との共催シンポジウムを開催（6月） 文学ゼミ開始
29 年度	全国文学館協議会展示情報部会を開催（10月27日～28日） 東京都荒川区立ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館と「おしどり文学館協定」を締結（11月5日） 図書館・文書館開館 15 周年、ふるさと文学館開館 3 周年記念事業を開催（1～2月） 加賀美幸子氏による朗読CD「聞いて楽しむふるさと文学」を発行（2月） 豪雪により、閉館時刻を繰り上げ（2月7～9日17時閉館）臨時休館（2月12日）
30 年度	プロローグゾーン内にくつろぎコーナーを新設（7月） 台風のため、9月4日を臨時休館、9月30日を14時閉館 第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）で来県された寛仁親王妃殿下が、展示室観覧（10月6日） システム更新のため、3月18日～31日を臨時休館
令和元年度	ふくい風花随筆文学賞の特別審査委員長に出久根達郎氏が就任。津村節子氏は顧問となる 台風のため、10月12日を12時閉館 開館 5 周年記念事業実施 冬季企画展「文学の食卓展」（1月～3月）、「高校生文学演劇祭」（2月）
2 年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、3月28日～29日を臨時休館（3月） 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月4日～5月10日を臨時休館 動画「詩人則武三雄ってどんな人？」、デジタル展示「福井の山と文学」を制作し非来館型のサービスを充実させた。（8月、2月）
3 年度	大雪のため、令和3年1月10日～11日を臨時休館 高見順の資料 67 点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開（8月） 「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2021」優秀賞を受賞（11月）

3 風花随筆文学賞

運営：風花随筆文学賞実行委員会

事務局：ふるさと文学館

平成31年4月より出久根達郎氏が特別審査委員長に、津村節子氏が顧問に就任した。

令和2年度より「ふくい」を外し「風花随筆文学賞」とした。

(1) 事業内容

①風花随筆文学賞（第25回）

応募受付期間：一般の部 令和3年7月1日（木）～10月31日（日）

高校生の部 令和3年7月1日（木）～12月15日（水）

授賞式・記念講演：令和4年3月6日（日）

→【新型コロナウイルス感染防止のため授賞式4/24に延期、記念講演は中止】

対象	応募作品数	一次審査選考数	入賞作品数
一般の部	1,448 編	31 編	5 編
高校生の部	3,009 編	30 編	6 編 (ほか佳作4編、奨励賞20編)
合計	4,457 編	61 編	11 編

②ふるさと風花文庫の貸出

期間	学校名等
1/8～7/9	福井工業高等専門学校
1/10～6/30	気比中学校
4/1～R4.3/31	吉村昭記念文学館
7/1～R4.1/31	武生東高校
7/8～R4.3/31	福井県立大学附属図書館
R4.2/1～5/31	福井大学医学部図書館
R4.2/1～7/31	丸岡高校

③文章講座（共催：ふるさと文学館）

	日時	講師	会場	参加者数
第1回	7/18(日)14:00～15:30	張籠二三枝氏	多目的ホール	42人
第2回	9/4(土)14:00～15:30	福田修氏	多目的ホール	44人
第3回	10/24(日)14:00～15:30	森重良太氏	多目的ホール	44人

<再掲>

④刊行物

タイトル	発行日	発行部数	備考
第24回風花随筆文学賞入賞作品集	令和3年6月	2,900部	B5判

(2) 実行委員会

①理事会

	日時	会場
第1回	6/3(木)14:00～15:00	県立図書館大会議室
第2回	2/18(金)15:30～16:30	県庁教育委員会室

②企画・審査委員会

	日時	会場
第1回	5/21(金)13:30~14:20	県立図書館大会議室
第2回	2/3(木)9:30~12:00	県立図書館大会議室

(3) 令和3年度理事

	氏名	役職名
会長	豊北 欽一	福井県教育長
理事	谷出 千代子	かこさとしふるさと絵本館長
理事	安達 洋一郎	福井新聞社読者事業局長
理事	増永 迪男	企画・審査委員長
理事	山口 昭男	中央経済社常勤監査役
監事	中川 幸一	げんでんふれあい福井財団事務局長
監事	坂井 裕之	福井新聞社読者事業局次長